

平成30年度 保護者アンケート結果と考察

4:よくあてはまる
3:ややあてはまる
2:あまりあてはまらない
1:まったくあてはまらない

評価項目		全学年の児童の評価割合					
		4	3	2	1	平均点	昨年度
学校評価について							
1	学校は、教育目標や活動の様子を学校・学年・学級便りで知らせている。	57.9	40.1	2.0	0.0	3.6	3.5
2	学校は、授業を工夫し、学力向上に努めている。	47.8	50.4	1.8	0.0	3.5	3.4
3	学校は、道徳の時間などの学習をとおして、心の教育に努めている。	44.0	53.3	2.6	0.0	3.4	3.3
4	学校は、体育の時間などの活動をとおして体力づくりに努めている。	48.6	47.6	3.6	0.3	3.4	3.5
5	学校は、けがや交通事故防止、不審者対策などの安全指導に努めている。	52.1	45.2	2.5	0.3	3.5	3.4
6	学校は、校舎内外の環境整備に努めている。	47.4	50.4	2.2	0.0	3.5	3.4
7	学校は、子供や親の連絡・相談に適切に対応している。	49.4	47.5	3.2	0.0	3.5	3.5
8	お子さんは、学校が楽しそうである。	54.7	40.2	4.5	0.5	3.5	3.5
9	お子さんは、進んで家族や地域の人にあいさつをしている。	25.7	56.8	16.3	1.2	3.1	3.1
10	お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。	29.9	55.4	13.0	1.6	3.1	3.2
11	お子さんは、家庭で読書をしている。	28.9	35.4	29.9	5.8	2.9	2.9
12	お子さんは、ノーメディアの活動に取り組んでいる。	19.7	48.2	27.8	4.4	2.8	2.8

保護者アンケート考察

全校児童882名中853名の回答をいただき、回収率は95%でした。保護者の皆様は教育への意識が高く、本校の教育活動に対しても高い関心を寄せていただき、本当にありがとうございました。御返答として関係保護者の方と直接、お話を行ったものもありました。子供たちの指導において、指導内容が子供達に理解されていなかったり、指導のあり方に問題が指摘された場合は、さらに相互理解がすすむように対応して参りました。教育活動や一人一人の取組を振り返ったり、次年度への参考にしたりいたします。引き続き、学校へお申し出いただきたく思います。御協力ありがとうございました。

- 評価項目1について、学校・学級だよりを通して御家庭へ情報提供が概ねできているということ、また保護者の方が学校からの情報発信に関心が高いことが分かる。クラスによってはもう少し情報が欲しいとの評価もあった。発信しなければならぬ情報をタイミングよく、確実に発信していくことを今後も心がけていかななくてはならない。
- 評価項目2から8については、保護者の方が実際に授業を見たり、子供の具体的な言動を通して実感される評価項目である。そこから概ね授業が充実されていることや、子供たちがよく学び、学校教育目標に向けて学びを深めている評価をしていただいていると考える。
一方で、学習指導要領の改訂に伴う授業改善を図る中で、持久走記録会など体育的な行事等の改善を行ってきた。生涯スポーツにつなげるための初等教育の在り方として変化が伴う場合は、理解が得られるように情報発信を十分行っていかななくてはならない。
- 評価項目の9から12については、昨年度と比較して、改善の余地があることが明らかとなった。児童が幸せに生きていくために身に付けなければならない大事なことである。そのためにも、地域・家庭・学校の共通目標として、身に付けた方が良い価値ある指導事項であるという共通認識をもって指導しなければならない。幸い長与小学校には地域安全ボランティアの方、交通指導で立哨指導をしていただいているたくさんの保護者の方等、地域・家庭・学校が共通目標として指導していく場がある。主体性も育てなければ育たない。地域・家庭・学校がそれぞれ子供たちの幸せを願い、身に付けさせてきた。
- ノーメディアの取組については、学校保健委員会でも取り組んできたことである。読書については、年間貸し出し冊数(一人当たり)がここ数年上昇してきている。ノーメディアも読書も習慣化が大切であり、共に時間をつくる、共に楽しむことが大事である。大人が価値ある指導であることを認識しながら、実践していきたい。

長与小PTA会長